
失恋

てけてけ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

失恋

【Nコード】

N7976H

【作者名】

てけてけ

【あらすじ】

高校生男子と女子の恋のお話 the 駄文

放課後、ほぼ全ての学生が開放感に満ちた表情の中、二年生の教室、一人の男子が憂鬱な気分で窓から空を眺めていた。

「はあ〜」

「……………どうしたのよ、辛気くさい顔して」

「なにが〜?」

「なにがじゃないわよ。これ見よがしに溜め息ついといって、気持ち悪い」

「……………うるせー」

突然、姿を表した女子に彼は不機嫌な顔をしてみせた。

しかし、彼女は彼の様子などものともせず。

「で、どうしたの?」

彼女は近くの席のイスを引き座り始める。

そんな彼女に彼はまた深く溜め息をつき、訳の分からないことをのたまり始めた。

「なあ、人はどうして恋をするんだろうか」

「はあ？」

「世間では恋を素晴らしいと言っけどこんな辛い思いするくらいなら」

「はあ」

「畜生、なんで俺はこんな苦しい恋に目覚めてしまったんだ！」

「おえっ……………」

「！？」

だんだん話しが熱くなりかけていると、彼女は口に手を当て崩れ落ちた。女の子が

「おえっ」て…。

「おいつ、大丈夫か！？」

その言葉に彼女は首を縦に振る。

顔色はそこまで悪いわけではなさそうだ。

「どうしたよ、気分でも悪いのか？」

「ええ、…だってアンタが恋恋って何度も言うから……………似合わないえ、気持ち悪っ」

「うるせーよ！今言い直す意味なかっただろ！つか3回だよ。そん

な何度も言ってねえ!!」

「うるさいわね。ツバ散らさないでよ、気持ち悪い」

「気持ち悪い気持ち悪い言っな。言われると結構傷つくんだぞっ」

「で、好きな人ができたの？」

と、何事もなかったかのように質問する彼女。もちろん彼の叫びなど無視

「……ああできましたよ!3年の先輩ですよ!彼氏持ちですよ!イケメンですよ!勝ち目ないですよ!ハッ!!」

「ああっもう、ツバ散らさないでっ!なにムキになってんのよ」

「だってさー」

「ふーん、なるほどねえ」

「はぁ、ついてねえなあ」

「何、慰めてほしいの?ホラ、足の指舐める?」

「なんでだよ!畜生、聞いてきたのはそっちなのに」

彼はそう言い下を向く。

顔は微妙に泣きそうだ。情けない。

そんな彼を見て彼女も溜め息をつく。

「はぁ……………」「んだよ？」

「いいえ……………」私なんて五年間も片思いなのに」

「……………」はい？」

「…なによ、その長い間は」

「いや、お前、好きな人いるの？似合わなっ…」

「っ……………」うるさいわね、自覚してるわよ。アンタと違って！」

「うつ、なんだよさつきから。俺になんか恨みでもあんのかよ…」

そっぴくぴくと怯えながら彼が言つと、彼女はキッと彼を睨みつけた。

「……………」

「……………」なんだよ」

「……………」ある」

「……………」

「ずっと中学の頃から好きでさ、いつの間にか目で追っようになつて、必死に悩んで今日告白しようと思ったの…」

「…………しなかったのか。でもそれが俺になんの関係があるんだよ」

彼女のニュアンスからしてないと言っるのは分かった。

しかし何故それを自分に言っのか分からない。

それに彼女は答えず話しを続ける。

「それで、勇気出して近づいたらいきなり暗い顔して溜め息ついてさ…」

「どうしたのか聞いてみると彼氏いる先輩を好きになって悲しいって」

「……………」

「ずっと溜めてた想いを吐き出す前に失恋しちゃったよ。ちょっとは恨み事一つ言いたくなるって」

「……………えっと」

彼もうそれが誰の事か分かっていた。

彼が顔を上げ、彼女を見ると、彼女は顔を歪ませその目には涙が溜まっていた。

そして彼女も彼の顔を見るとハツとした。

「……………、ごめんね、私が勝手に好きになっただけなのに…
こんな」

「……………いや」

「アナタのことが好きです……………聞いてくれてありがとうございます。じゃ、さよならっ」

「待つ……………!」

彼の制止を聞かずドアを開け帰って行く彼女に彼は何も言えなかった。

（後書き）

えーと、こうやって文章を書くのは初めてなんですが、こんな文章とも呼べない駄文を読んでもくれる人がいると嬉しいです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7976h/>

失恋

2011年1月7日02時35分発行